

空き巣被害に注意しましょう！

毎日暑い日が続いています。この時期の空き巣被害は、全国的には少なくなる傾向にあります。しかし、理由が「エアコンの冷風を外へ逃さないように家を閉め切るため」ですので、エアコンの普及が少なく窓を開けて過ごす習慣のある北海道では逆に増加する傾向にあります。

また、遅くまで日が高く開放的な季節柄、戸締りに対する意識も弱まりますので、以下を参考に防犯意識を高めるように努めてください。

● 自宅の防犯対策

空き巣の主な侵入方法

① 無施錠の玄関や窓から侵入（無締り） ② ガラス破り

・在宅時、特に就寝時は家に鍵をかけるクセをつけましょう。また、ピッキング対策に鍵は2つ以上付けるようにしましょう。

・最近ペットのために窓を開けっ放しで外出する家庭が増えています。2階の窓だからといって油断していると塀や樹木づたいに侵入される可能性があり、特にベランダ付きの部屋が侵入され易い傾向にあります。外出の際は窓を必ず閉めるようにしましょう。また、一般的なクレセント錠は防犯性が低いため補助錠を取り付けるようにしましょう。

・格子付きの窓でもネジ留めだけで付いている場合が多く、ドライバー等で簡単に外されてしまいます。事前に確認し、ネジ山を潰したり、瞬間接着剤で塞ぐなどの工夫をしましょう。

・空き巣は侵入にかかる時間が5分以上で半数、10分以上で8割以上が諦めると言われています。防犯用の窓ガラスやフィルムの使用、防犯装置や防犯砂利の設置などにより被害を最小限に食い止めることができます。また、最近では粘着テープで貼るだけで窓の開き具合を固定できる器具や窓ガラスが割られた音のみに反応してアラームがなる装置も安価に販売されていますので活用しましょう。

・空き巣は必ず下見に来ると言われています。花壇の手入れや草刈りなどを普段から行うことで、進入しにくい家であるように見せることができます。

・空き巣は、特に留守の家を狙っています。旅行等で長期不在なことが誰でも分かるようにするのはやめましょう。

(例：留守番電話に「〇〇日まで不在です。」と吹き込む、SNSに旅行の旨と住所が特定できる情報を投稿する、新聞配達を一時停止しないで郵便受けに溜めて置く など)



【不審者や不審車両を見かけたら、警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！】

苫小牧警察署 ☎ 0144 ☎ 0110・追分駐在所 ☎ 2003・安平駐在所 ☎ 2339

早来駐在所 ☎ 2030・遠浅駐在所 ☎ 2211・役場総務課 ☎ 2511